

2014年9月12日（金） 掲載



あえのこと体験 観光客に

能登町の柳田植物公園は10月から、奥能登伝統の農耕儀礼「あえのこと」を体験し、地元食材で作った御膳を味わえるプログラムを行う。実際の神事が毎年執り行われている藩政期のかやぶき古民家「合鹿庵」を使い、

柳田植物公園 来月から

世界農業遺産に認定された能登の里山里海の豊かさと魅力で誘客する。

プログラム「神々の宴 in 能登 合鹿庵」では、姿の見えない田の神を座敷まで案内し、料理を一品ずつ紹介してもてなす様子を紹介する。観光客は、輪島塗の膳で能登牛や、近海の定置網で取れた新鮮魚介、近隣でとれた野菜で作る料理を味わえる。

七尾市出身の世界的パティシエ辻口博啓さんが手掛けた「希少糖入り、柳田ブルーベリーアイス」も園内限定で提供し、伝統文化と味覚で観光客をもてなす。

体験は2日前までに予約すれば、7、8月を除く毎月第2、3土曜と日曜に実施する。2週間前までの予約があれば、7、8月と年末年始を除く毎日、貸し切り宴として実施する。

あえのことを体験できるプログラムが始まる合鹿庵

— 能登町柳田植物公園

2014年9月13日（土） 掲載

能登産アイスいかが

辻口さん創作 雅珠香さんら来社

能登町の柳田植物公園は13日から、地元産ブルーベリーを使ったアイスクリームを発売する。10月から同公園で始まる奥能登伝統の農耕儀礼「あえのこと」を体験するプログラム「神々の宴 in 能登・合鹿庵」にちなみ、七尾市出身のパティシエ辻口博啓さんがプロデュースした。12日は公園

の技法を解説。北陸新幹線走行試験など、紙面に掲載された報道写真を示し「余分な空間を作らず、被写体に近づいて撮影することが大切」などと話した。



のPR大使を務めるフードアナリストの雅珠香さんII写真左IIが北國新聞社を訪れ、アイスを紹介した。「希少糖入り、柳田ブルーベリーアイス」は公園

内のレストランピッコロで500円で提供される。雅珠香さんは「国内外で注目されている希少糖を使って辻口さんが創作し、世界農業遺産の地で食べられる、世界すぐめのアイスとして広く発信したい」と話した。同公園の馬場信義施設長が同行した。